

**JR高崎支社の
外注先・100%子会社**

高崎鉄道サービス

T T Sの恐るべき労働条件

バラバラで超低賃金・解雇の脅しでこき使う

J R高崎支社は、検修・構内業務の外注化、駅の全面外注化を強行し始めています。その外注を請け負っているのが高崎鉄道サービス（T T S）です。この間の外注化の強行の中で、T T Sの恐るべき労働条件が明らかになってきました。

●バラバラな雇用形態

T T Sの清掃業務は、①パート、②契約社員A、③契約社員B、④契約社員甲、⑤契約社員乙、⑥正社員、⑦J Rからのエルダー社員など少なくとも7種類の雇用形態で行われているそうです。それぞれの条件が少しずつランク付けされていて、正社員はたくさんもらっているようだけど、まったく同じ仕事をしているのに、誰がいくら賃金をもらっているのかもよく分からないそうです。

まさにかつての土農工商と同じように、お上に怒りが集中しないように、労働者どうしを対立・競争させて支配する制度です。だからT T Sの分断雇用制度によって労働者同士の人間関係も非常に難しくされているそうです。

●生活できない低賃金

契約社員の基本的な賃金は毎日汗水たらして働いても月収12万ぐらいだそうです。これは東京で駅専門の外注会社として作られたステーションサービスの駅の労働者の賃金と同じです。これでは収入が安定している親と同居していないと生活できない、年金の足しにするぐらいの賃金でしかありません。

●解雇の脅しでこき使う

T T Sでは仕事のやり方についても「黙っていうことを聞け」という雰囲気か

蔓延し、「協調性のない人は辞めてもらいます」と何か意見を言うたびに首が切られる恐怖心が植え付けられています。業務の変更も現場にはなんの相談もなく、いきなり告げられることがほとんどで、仕事への誇りもどんどん奪われるそうです。

みんな不満を持っていますが、世の中にほかに仕事がないから、T T Sで働かざるを得ないのだといま

●J Rは外注化をやめ非正規職を撤廃しろ！

実際に、検修・構内業務が全面外注化された籠原派出でも、年休や手当の減額や点呼場所の変更などの労働条件の変更が、J Rからの出向者でさえ「T T Sでは交渉対象ではない」と強行されています。これから鉄道業務がどんどんT T Sに外注化されたら、鉄道で働く労働者の労働条件も信じられない状態にされてしまうことは明らかです。J Rは外注化なんかやめて、T T Sの労働者もみんな正規で雇用すべきです。そうしなければ生きていけません。



求人ばかりしているT T Sのホームページ。定着率の悪さは、ブラック企業の典型だ。

6月7日

No114

国鉄高崎動力車連帯労働組合

(連絡先: srkcjp@yahoo.co.jp TEL/FAX 048-722-7107)
支援する会・熊谷のHP <http://kumashien.web.fc2.com/>

解雇撤回・外注化阻止！ 6・9全国集会に集まろう！

● J Rの外注化を止めることは労働者全体の利益だ！

私たちが何よりも訴えたいことは、J Rが今やっている外注化・非正規職化は日本の労働者全体の労働条件をめちゃめちゃにする国家ぐるみの大攻撃だということです。

それはそもそも日本において派遣労働が解禁になったのが、中曽根首相による国鉄分割・民営化による大量解雇、闘う労働組合の破壊の攻撃と一体であったことを見てもはっきりしています。

そして今、J Rがやっている5年で雇い止めというグリーンスタッフ制度が、5年で雇い止めできるという新しい労働法制とされたり、J Rがやろうとしている職種限定職員制度などが政府・経団連の10割非正規化の先取りとなろうとしている事を見てもはっきりしています。

だからJ Rの外注化も、J Rがやりきってしまったならば、同じ方法で日本の労働者がみんな非正規職にされてしまうという恐るべき攻撃なのです。

つまり、逆に言えば、J Rの外注化を止めることは、J Rの社員にとってだけ正義なのではなくて、日本の労働者階級全体にとって良いことなのです。これは労働者階級全体の生き死にをかけた闘争です。

● 団結して闘う以外に労働者の未来はない

ここで大切なことは、私たち労働者の最大の武器は、「一人の仲間も見ずてない」「一人の首切りも認めない」という闘う団結にこそあるのだということです。資本や政府がどんなに攻撃しても、この解雇撤回・外注化絶対反

対の原則で団結した労働者を屈服させることはできません。

このことを証明したのが、いまま国鉄分割・民営化によるなかまの解雇を許さず、現在のJ Rの外注化攻撃ともっとも不屈に闘い抜いている動労千葉、動労水戸、和解を拒否した国労闘争団をはじめとした国鉄闘争全国運動です。民営化が強行されても、外注化が強行されても、階級的利害・団結を守って、絶対反対で闘い続けてきたこの運動を拡大することこそ、団結破壊の政府・J Rの外注化・非正規職化を打ち破る闘いです。

● 動労連帯高崎と共に決起しよう！

われわれ動労連帯高崎は、高崎支社において、唯一外注化絶対反対を貫いている労働組合です。私たちは数は少ないですが、一緒に闘ってくれる仲間はたくさんいます。絶対に仲間を見捨てません。何よりも高崎支社で私たちの仲間が増えることが、外注化を阻止する力になります。6・9全国集会に一人でも多くの仲間が結集することを呼びかけます！

国鉄1047名解雇撤回！
国鉄闘争 全国運動 6・9全国集会

6月9日(日)午後1時から(正午開場)
東京・文京シビックホール

【会場への行き方】

東京都文京区春日1-16-21

◎東京メトロ丸ノ内線・南北線後楽園駅

◎都営地下鉄三田線・大江戸線春日駅

◎J R中央・総武線水道橋駅【徒歩約10分】

